

ウトロ地域マリンビジョンニュース

発行・編集・・・ウトロ地域マリンビジョン協議会事務局

ウトロ地域マリンビジョンニュースは、町民のみなさんと一緒にウトロ地域で水産業を核とした地域振興を進める「ウトロ地域マリンビジョン計画」の推進状況などをお知らせするお便りです。

船霊（ふなだま）祭が とり行われました！



平成25年4月11日(木)にウトロ漁業協同組合船霊祭がとり行われました。漁業者は船の守り神(船霊)をまつり、大漁・安全操業を祈りました。



船霊って何？

船霊(ふなだま)とは、漁業者が操業の安全を願う神で、その神を祀る船霊祭は大漁祈願祭と同様に重要な神事で毎年行われます。

船霊は女性の神といわれ、昔は女性を船に乗せると船霊が怒り出し海難を起こすと信じられていました。

新造漁船「第八とみ丸」がウト口漁港にお目見えしました！



平成25年5月17日(金)、ウト口漁港に新造漁船「第八とみ丸」(今井共同漁業部)がお目見えし、漁業者の家族、漁協職員などが到着をお祝いしました。船の到着後、餅まきが行われました。餅まきにはたくさんの子供達も参加し、紅白餅やキャラメルなどを取ろうと奮闘していました。



一船の名前—

多くの船(特に漁船)の名前には第〇〇丸という名前が付けられます。この丸をつける由来は自分のことを表す麻呂からきているといわれています(諸説あり)。丸が付いている最古の船として平安時代の書物に板東丸という船が出てきます。明治時代に出来た船舶法では名前に〇丸を付けることが推奨されており、全国的に普及していきました。また、第〇〇丸という番号は八や八十八、五、五十五など末広がりがりやご縁があるといった縁起の良い数字などがよく用いられ、四や九などは避けられます。